



# 株主の皆様とともに

三菱製紙グループ全体の情報開示を統括するために「情報開示委員会」を設置しています。この委員会で、情報開示の考え方を整理し、対外情報公開の基本方針として「情報開示方針(ディスクロージャーポリシー)」を策定しました。

## 1. 基本方針

「三菱製紙グループ企業行動憲章」の「3. 企業活動の透明性」に基づき、適切な会社情報を、顧客・株主・地域社会などに向けてタイムリーに開示します。

## 2. 開示基準

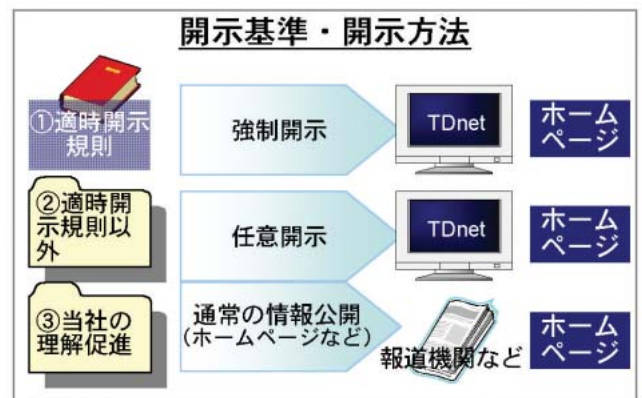
上場企業のルールである東京証券取引所の「適時開示規則」に則って情報を開示します。

「適時開示規則」に該当しない場合でも、投資判断に影響を与えると判断した情報を開示します。三菱製紙グループの社会的認知、理解を深めるために有効と思われる情報を開示します。

## 3. 開示方法

適時開示情報伝達システム(TDnet)、各報道機関、及び、ホームページを通じて開示します。

2009年3月制定



## 情報開示とコミュニケーション

当社グループの企業価値を適正に評価していただくため、ステークホルダーである株主・投資家の皆様に対するIR活動(Investor Relations; 投資家広報)を継続的に行なっています。活動の主な内容は、機関投資家や証券アナリストの皆様へ、中間決算と期末決算発表後に開催する決算説明会と、経営計画策定時の説明会などの実施です。また、個人株主の皆様や報道機関からの問い合わせにも対応しています。

さらに、フェアディスクロージャーの観点から、上記の決算説明会・経営説明会の資料はもとより、適時開示情報、プレスリリース、新製品等について、発表と同時にホームページに掲載しています。

適時開示について.....投資判断に重要な影響を与える会社の業務、運営または業績等に関する情報を「適時開示規則」に従い公表します。

任意開示について.....「適時開示規則」に該当しない情報でも、投資判断に重要な影響を与えると当社が判断した場合に公表します。

TDnetとは.....開示情報を公平・迅速かつ広範に伝達するために、国内の全ての金融商品取引所等が共同利用するシステムです。